

第 19 期 通訳プロ養成講座 シラバス

アドバンスレベル

Instructor 千葉絵里

Date & 2026年1月17日（18日）～ 2026年20月20日（21日）予定

Time 米西海岸時間 土4:00 PM – 6:00 PM (日本時間 日 9:00 AM - 11:00 AM)

※ 日付は米時間と（ ）内に日本時間を表示しています。

※ 米夏時間開始後は、時間調整が必要になります。

Introduction:

プレ・アドバンスレベルまでに培ってきた英語・日本語の運用能力、通訳の基礎力を土台に、通訳スキルを更に磨いていきます。

<対象>

- プレ・アドバンスレベル修了者
- レベルチェックにてプレ・アドバンスレベル修了相当と判断された方
- 社内通訳者・フリーランス通訳者として既に通訳の仕事をしているものの、同時通訳にまだ自信が持てない方、あるいはこれから学んでいきたい方

Course Objectives:

逐次通訳：これまでに培ってきた逐次通訳スキルを土台に、ビジネス通訳や一对一あるいは少人数のミーティング、専門性が高いが準備に十分時間が取れるミーティングの通訳に対応できる能力を磨きます。通訳できるチャンクの長さを延ばし、その場にふさわしい表現を学び、同時通訳と逐次通訳のスタイルの違いを意識しながら訳出することや、通訳の仕事の準備の仕方についても学んでいきます。本クラスでは、パーソナル・プロジェクトを活用してロールプレイを実施することにより、スピーカーの立場への理解を深め、人前で話すのにふさわしいデリバリーの仕方を学び、実践的な質疑応答の通訳演習を行います。

同時通訳：同時通訳の訓練を本格的に行います。ボイスオーバー付きサイト・トランスレーションなど、同時通訳に役立つ訓練法を学び、同時通訳できる時間の長さや文の複雑さを少しずつ増やしていきます。また、パーソナル・プロジェクトに取り組み、背景知識を学ぶとともに、興味のある分野で一定の時間同時通訳ができるようになることを目指します。

※ このほか、クイックリスポンス、大きな数の訳し方、ノートテイキング、リテンション強化など、必要な通訳訓練を適宜行います。

Required Materials:

- PC (Wifi あるいは有線 LAN 接続)
- マイク付ヘッドセット (有線タイプ)
- 筆記用具 (ノートパッドとペン)
- 辞書 (Weblio <https://ejje.weblio.jp/> などのオンライン辞書または電子辞書)
- スマートフォンやボイスレコーダーなど録音/再生可能なデバイス (授業や宿題の内容によって必要)

Required Tools & Benefits:

- ☐ Zoom アカウント (毎回の授業は Zoom ウェブ会議システムを用いて実施、復習用に録画リンクを配布) <https://zoom.us/zoomrooms/software>
- ☐ Slack アカウント (授業関連のコミュニケーション用に使用。例えば、受講生と講師およびプログラムコーディネーターとの業務連絡、スケジュールの確認と調整、ホームワーク出題等)
- ☐ LINE あるいは Facebook Messenger のアカウント : 同時通訳練習時に別回線を確認するために使用する場合があります。
- ☐ Facebook 非公開グループ「会議通訳トレーニング講座&ワークショップ」へのアクセス
(通訳関連の情報交換、EJ EXPERT からのお知らせ、受講生からの質問や相談などができるコミュニティ) <https://www.facebook.com/groups/1370136739737880/>

Reference Materials:

- ☐ 教科書 : EJEXPERT 通訳講師チーム著『[プロの通訳技術](#)』 Vol.1
- ☐ 参考書 :
 - ピンカートン 嘩子・篠田顕子著『実践 英語スピーチ通訳』(英語のスピーチスタイルとその訳し方への理解を深めることができる)
 - エドワード・サイデンステッカー・松本道弘著『最新日米口語辞典』(時事用語の知識を深め、日英の表現力をつける上で役立つ)
 - 原沢伊都夫著『日本人のための日本語文法入門』(日本語文法の特長を理解し、日英通訳の構文を考える上で参考になる)

- 神山孝夫著『脱・日本語なまり——英語（+α）実践音声学——』（発音の仕組みについて理解を深めたい方のために。CD は付属していないので、指定サイトよりダウンロードする必要がある）
- 大津広一著『英語の決算書を読むスキル』（少し事例が古いが、Investor Relations などの通訳をしたい方にお勧め）
- シバタナオキ著『MBA より簡単で英語より大切な 決算を読む習慣』（様々な業態のビジネスモデルの理解に役立つ。IR 通訳をしたい方にお勧め）

※ 教科書は受講前に購入して一読しておいてください

※ 参考書は必ずしも全て購入する必要はありません。各自が必要と思ったら購入してください。

Homework Assignment:

アドバンスレベルでは、受講生各自が自分なりの学習習慣を確立していることを期待します。全員共通のホームワークは、「授業でのパフォーマンスを振り返り、最適と思う訳出を提出すること」を中心としますが、適宜他の課題を追加します。6 か月後に自分で進歩を実感できるためには一定の学習時間を確保することが必要ですので、特に他のホームワークがない場合も、自分にとって必要と思う練習を続けてください。また、6 か月間を通して取り組むパーソナル・プロジェクトがあります。

※ ホームワークの量や内容は、受講生の通訳経験・学習歴等によって変わります。

※ 仕事や家庭等の都合でパーソナル・プロジェクトに取り組むことが難しい場合は申し出てください。
時間をかけて一つのテーマを掘り下げて学ぶことは、用語を知るだけではなく背景知識の獲得に役立ちますので、できるだけ積極的に参加いただきたいと思います。

End of Term Evaluation:

ターム終了後には講師と 15 分の個人面談の機会があり、今学期の振り返りを行います（無料）。面談では、各スキルの評価、進級レベルの推薦、今後の強化・改善点のアドバイスを行います。

Others:

授業中のパフォーマンスを拝見して、他のクラスで授業を受けたほうがその時点の実力向上により役立つと判断された場合は、他のクラスへの移動をお勧めすることがあります。

Sequence of Topics:

Session	Theme	Main Topic
1	さあ通訳訓練を始めよう！ ーアドバンスレベル編	オリエンテーション 自己紹介 初見逐次通訳（初回アセスメント） <ul style="list-style-type: none"> 用語リストのみ見て、ぶっつけで逐次通訳を行います。アドバンスレベル継続生が多い場合は、同時通訳を実施する場合があります。
2	逐次通訳：通訳できるチャンクを延ばす 同時通訳：訓練法を学び、基礎を固める	同時通訳訓練法紹介／復習 <ul style="list-style-type: none"> クイックレスポンス サイト・トランスレーション（ボイスオーバー） リバース英作文／リバース通訳／TED Talk を用いた訓練法同時通訳・逐次通訳（英日）（動画予習あり） パーソナル・ストーリー
3	同上	同時通訳訓練法紹介／復習 <ul style="list-style-type: none"> サマライジング（話の流れを追う） 原発言分析 結果の予測 「通訳しづらい日本語表現」「役立つ英語表現」のタームベース作成 同時通訳・逐次通訳（日英）（動画予習あり） <ul style="list-style-type: none"> 時事関連あるいは専門用語の少ない平易スピーチ・インタビュー <p>* 第 3 回終了時まで、パーソナル・プロジェクトのサマリーと参考文献（URLを含む）リストを提出してください。</p>
4	逐次通訳：通訳できるチャンクを延ばす、より洗練された表現を身に着ける 同時通訳：同時通訳ができる時間を少しずつ延ばす	リテンション強化 ノートテイキング 逐次通訳・同時通訳（英日）（日英）（用語リストのみ事前配布） <ul style="list-style-type: none"> 挨拶 パーソナル・プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> サマリー発表と、質疑応答の逐次通訳演習を行います。

5	同上	<p>逐次通訳・同時通訳（英日）（予習あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネス <p>パーソナル・プロジェクト</p>
6	同上	<ul style="list-style-type: none"> サマリー発表と、質疑応答の逐次通訳演習を行います。 パーソナル・プロジェクトから、1分間あるいは2分間の同時通訳を発表します（英日・日英のいずれか） <p>逐次通訳・同時通訳（日英）（予習あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネス（決算説明会あるいは会社説明会） <p>パーソナル・プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> サマリー発表と、質疑応答の逐次通訳演習を行います。 パーソナル・プロジェクトから、1分あるいは2分間の同時通訳を発表します（英日・日英のいずれか）
7	<p>逐次通訳：同時とのスタイルの違いに留意する、プロとしてふさわしい訳出を目指す</p> <p>同時通訳：ワーキングメモリにより負荷のかかる同時通訳に慣れていく</p>	<p>同時通訳・逐次通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講生と相談の上決定します <p>パーソナル・プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> サマリー発表と、質疑応答の逐次通訳演習を行います。 パーソナル・プロジェクトから、1分間あるいは2分間の同時通訳を発表します（英日・日英のいずれか）
8	同上	<p>同時通訳・逐次通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講生と相談の上決定します <p>パーソナル・プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> サマリー発表と、質疑応答の逐次通訳演習を行います。 パーソナル・プロジェクトから、1分間あるいは2分間の同時通訳を発表します（英日・日英のいずれか）
9	同上	<p>同時通訳・逐次通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講生と相談の上決定します <p>パーソナル・プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> サマリー発表と、質疑応答の逐次通訳演習を行います。 パーソナル・プロジェクトから、1分間あるいは2分間の同時通訳を発表します（英日・日英のいずれか）

10 同上

リレー通訳シミュレーション（逐次）

- 自分の通訳をさらに通訳してもらう時に気を付けるべきことについて学びます。

同時通訳・逐次通訳

- 受講生と相談の上決定します。

パーソナル・プロジェクト

- パーソナル・プロジェクトから、1 分間あるいは2 分間の同時通訳を発表します（英日・日英のいずれか）

11 アドバンスレベル 総仕上げ

総復習

- これまで学んだ技法や教材の復習を行います。

パフォーマンス大会

- パーソナル・プロジェクト最終発表：新入生は 5 分間、継続生・同通経験者は 7 分間の同時通訳（英日）をクラスメイトに披露します。お互いに批評をしあい、更なる向上を目指します。

12 アドバンスレベル 総仕上げ

総復習

- これまで学んだ技法や教材の復習を行います。

パフォーマンス大会

- パーソナル・プロジェクト最終発表：新入生は 5 分間、継続生・同通経験者は 7 分間の同時通訳（日英）をクラスメイトに披露します。お互いに批評をしあい、更なる向上を目指します。

振り返り

質疑応答

※ このシラバスはあくまで標準シラバスであり、受講生の通訳経験・学習歴等によりカスタマイズします。

※ メイントピックの他にウォーミングアップの初見通訳やシャドーイング、数の練習も行うことがあります。トピックは変更になる場合があります。

※ パーソナルプロジェクト：6 か月間の受講期間を通じて、個人的に同時通訳に取り組みたい動画を英語、日本語 1 本ずつ選んでください。自ら同時通訳を行うほか、逐次通訳演習にも使用します。

（パーソナルプロジェクトを用いた逐次通訳演習）

自分が選んだ動画から 1～2 分のサマリーを作成し、スピーカー役を務め、クラスメイトに通訳をしてもらい、他のクラスメイトからの質問に答えます。スピーカー役の方は、聴衆からの質問に答えることを想定して自分の選んだトピックについて情報を収集し、通訳者に資料を提供します。通訳者役の方は、スピ

ーカー役の方と打ち合わせを行い、資料や用語リストを提供してもらい、逐次通訳の準備をします。聴衆役の方は質問を準備します。スピーカー役を務めることで自分が同時通訳をしたいと思っているトピックについて理解を深め、通訳者役の方は質疑応答の間、集中力を保って最後まで通訳し続ける力を養います。

なお、逐次通訳ロールプレイは受講生の数が 3 名以下の場合、実施しない場合があります。

(パーソナルプロジェクトを用いた同時通訳演習)

学期を通じて定期的に中間発表を行い、第 11 回・第 12 回に全 5 分あるいは 7 分の同時通訳パフォーマンスをクラスメイトに披露します。

- ※ 授業では、講師が予め選定した教材のほかに、受講生の興味・関心に合わせた教材を使用します。開講後、興味のあるテーマ（ビジネス、環境、政治経済など）を早めに申し出てください。